科目名	国際地域研究	科目分類	■専門科目群　□総合科目群 国際学科　□必修　■選択 学科　□必修　□選択
英文表記	Regional Analysis in the Present World	開講年次	□１年 □２年 ■３年 □４年
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
ふりがな	まるや　あきひこ	実務家教員担当科目	○　修得単位　２単位
担当者名	丸谷　　明彦	実施方法	■対面のみ　□遠隔のみ □対面・遠隔併用
授業のテーマ	アメリカの歴史や特質を概観した上で、国際社会における役割や日本との関係などを学ぶ。		
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を習得できます。 １　国際政治の動きをつかむ上で役に立つ ２　ニュースや資料をこれまで以上に主体的に理解できる ３　就職活動や公務員試験の準備にも活用できる		
授業概要	国際政治において、中国の影響力が増しているのは明らかですが、アメリカが果たしている役割にはまだまだ大きなものがあり、日本にとっても基軸となる関係を有する国です。アメリカの歴史や外交政策、国民性やAIに代表される技術革新など、幾つかの側面からアメリカを考え、私たちの今後の方向性を考える機会にできればと思います。		

授業計画	
第１回	国際政治と私たちの生活（全体のガイダンス）
第２回	ニュースの見方・考え方・使い方
第３回	アメリカという国について
第４回	アメリカの歴史
第５回	アメリカの国民性
第６回	アメリカの日本に対する見方・考え方
第７回	アメリカのポップカルチャー
第８回	前半のまとめ・中間試験
第９回	アメリカの安全保障政策
第10回	アメリカの外交政策
第11回	アメリカの中国政策
第12回	アメリカの経済・通商政策
第13回	アメリカの技術革新と日本
第14回	今後に向けた課題
第15回	全体のまとめ
第16回	定期試験

授業時間外の学習	1. 授業の前にテーマについて、ネットなどで調べ、大まかなイメージをつかんでください。その際、疑問や質問も考えておいてください。(2時間程度) 2. 毎回、前回の講義内容の確認を行いますので復習をしっかりと行ってください。(2時間程度)
履修条件 受講のルール	適宜資料を配布しますが、事前に連絡がなく欠席した学生には原則として配布しませんので、友人同士でコピーしてください。講義の際は、前回までに配布した資料を必ず持参して下さい。
テキスト	
参考文献・資料	西崎文子『アメリカ外交とは何か―歴史の中の自画像―』(岩波新書)
成績評価の方法	【試験（中間４０％、期末４０％)、受講態度２０％】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。

	・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。
オフィスアワー	月曜日１３：００～１４：３０・火曜日１４：４０～１６：１０
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	私は公務員として公共の安全に関する業務に携わり、アメリカに 7 年ほど、駐在する機会がありました。この授業では、アメリカを多様な側面から検討した上で、国際社会における役割、日本との関係の今後などについて、考えていく機会にしたいと思います。
学生へのメッセージ	わたくしたちの周囲にはパソコンやスマートフォン、食文化などアメリカ由来のものが数多くありますが、国家としての歴史や国民性、外交政策に触れる機会はそれほど多くないように思います。日本人にとって身近で、影響力の強い国について、具体例を交えながら考えることで、アメリカだけでなく、日本についての理解を深める機会にできればと思います。